

地方創生・DX推進対策特別委員会 県内行政調査

1 調査日 令和4年7月14日（木）

2 調査の概要

(1) ホテル琵琶レイクオーツカ（大津市南小松）

ホテル琵琶レイクオーツカは、本県を訪れるサイクリストが快適に、安心して宿泊できる施設「滋賀県サイクリストにやさしい宿」の認定を受け、多くのビワイチサイクリストが宿泊利用しているホテルであり、昨年度の地方創生・国スポ・障スポ大会対策特別委員会においては、参考人として同ホテルの取組や自転車観光の展望等について御意見等いただいたところである。

ついでに、今後の委員会活動の参考とするため、ホテル琵琶レイクオーツカを訪問し、同施設の取組状況を現場視察するとともに、ビワイチの展望、課題について調査を行った。



(2) マザーボード（守山市守山）

昨年3月、困難を抱えた子ども・若者を地域で見守り育てる「地域養護」を掲げ、滋賀県独自の組織として「滋賀県地域擁護推進協議会」が県や市町の社会福祉協議会、児童養護施設など複数の機関が構成団体となり設立され、児童養護施設退所者および里親委託解除児童（ケアリーバー）等の困難を抱えた子ども・若者を地域で支える取組が進められている。また、昨年度には、拠点施設として「マザーボード」を設置されたところである。

については、ケアリーバー等への包括支援拠点となっている「マザーボード」を訪問し、地域養護の取組状況と課題について調査を行った。

